

令和 8 年度 学校自己評価 (1 学期集計結果)

達成状況評価→ A:よくできた B:できた C:あまりできなかった D:できなかった

※A(4pt),B(3pt),C(2pt),D(1pt)として集計、平均を算出。3.0以上を成果、2.5以下を課題（太字斜体二重下線）、その間を改善の余地あり（斜体下線）と捉える。

領域	観点	項目	評価①	評価②	評価③	2学期に向けた取組（重点事項）
学校運営	学校経営方針	1 学校教育目標に向けて具体的に実践した。	3.3			
		2 「元気なあいさつをかわす子」が育っている。	3.1			・2学期の084の日では 保護者の協力 を得て一緒に取組を実践する。【継続：児童会・PTA】 ・「あいさつ運動」等、児童会が主体となって活動できる取組を検討し実行する。【生指・児童会】
		3 「やる気をもって学ぶ子」が育っている。	3.1			・睡眠時間の確保に向け、養護教諭はもとより委員会等による啓発を積極的に実施する。【生指・養護教諭・給食健康委員会】
		4 「思いやりの心を持つ子」が育っている。	3.3			・ 教師自身が見本 となる（ 言葉遣い 等、 意識 して気を付ける）【継続：全員】 ・児童同士はもちろん大人に対しての言動についても全職員で共通して一貫した指導を行う。【全職員】 ・学級を基盤としながら委員会や児童会等、子どもの良い行動を見逃さず認め、相手の立場を考える機会を積み重ねていく。【担任・生指・児童会】
組織運営		5 勤務時間の適正化が図られている。（定時退勤日の取組、勤務の割り振り等）	3.1			・学級経営業務、授業準備（教材研究等）、学級事務（添削等）、分掌事務等、業務内容を精選、 順位付けを意識 する。【継続：担任・担当】 ・SSSの業務内容を整理する。【継続：労働安全衛生委員会】 ・計画的年休 10日取得 を目標とする。【継続：全員】 ・GPH200から取り入れられそうな取組を検討する。【継続：全員】 ・保護者への配付文書のPDF配信を実施しているが、ペーパーでの配付をPTA本部等と協議・検討し、縮小していく。【教頭】
		6 職員会議では共通理解が図られ、効率的に行われている。（業務・会議の効率化等）	3.4			・提案文書を早めに作成し、事前に目を通しておくようにする。水曜日の提案であれば、 月曜日には掲示 しておき、 火曜日から会議が始まるまでに全員が閲覧 しておく（ 前週には起案 ）。個別の相談、調整が必要な案件は 事前に済ませておく 。【継続：担当・全員】 ・ 会議のタイムマネジメント を徹底する。【継続：司会者・提案者】 ・掲示板・ローカルメールを活用し、 事前処理できる案件は職員会議には上程しない ようにする。【継続：全員】 ・各自、職員室液晶掲示板で確認、特に追加・変更・重要事項（時間帯）については赤字で表示するので要確認【全職員】
		7 校務分掌は適切に機能している。	3.2			
		8 教職員相互の協力・協働・相談等に努めている。	3.5			・ 報告、連絡、相談の徹底 。【継続：全員】 ・職員室での作業を心がけ、気軽に相談、協力・協働を大切にする。【全職員】
		9 公務員としての自覚を持ち、服務規律の順守、資質向上等を図っている。	3.6			

	10	P T A（学年行事含む）は、適切に機能し、運営されている。	3.4		・教育効果と負担感のバランスを考慮しながら可能な範囲でPTA活動へ積極的に参加していくことは大切にしたいが、業務改善の視点からも各部の部長と年度の振り返りをする際、改善を提案をしていきたい。【管理職・各部主担当】
研修	11	校内研修は適切に推進している。	3.7		・令和8年度但馬小学校算数部会研究会に向けて、研修部から提案された内容については、 確実に実践する等、授業力の向上に積極的に取り組む。 【全員】
	12	研修テーマを意識し、主体的に研修に努めている。	3.8		・公開授業週間の取組を充実させる。【研修部】
	13	研修の場と時間は、確保されている。	3.8		
生徒指導	14	学級経営目標に向けて、具体的に実践している。	3.4		
	15	児童理解をもとに、共通理解を図りながら適切な指導をしている。	3.4		・児童理解の会、生活指導の会の 効率的な在り方と効果的な指導体制 づくりを検討する。【 継続：特支コーディネーター・生指 】 ・隣接学年の指導も意識し、学習の成果物や発表等の交流も実施する。【担任団】
	16	基本的生活習慣が身についている。	2.9		・生活アンケートや保護者アンケートの結果を還元し、 家庭の協力 を求める。【 継続：学校教育改革・生指 】 ・学期に1回、 基本的生活習慣に関する取組を月目標に反映 させる。【 継続：生指・児童会 】 ・睡眠の大切さについて啓発するたよりの作成、発行する。【 継続：養教 】 ・幼小中連携の取組とも関連させ、ゲームや動画視聴、SNS使用等について家庭におけるルールづくりを啓発に取り組む。【幼小中連携担当・生指】
	17	いじめ、不登校等、家庭・地域と連携を密にして組織的に未然防止、早期発見、早期対応に努めている。	3.5		・「発達支持的生徒指導」「課題未然防止教育」を充実させるとともに、「 課題早期発見対応 」を心掛ける。（生徒指導提要より）【 継続：全職員 】 ・「 いじめ防止基本方針 」（ダイジェスト版）を作成し、いじめの未然防止や早期発見について、組織的・計画的に取り組む。【 継続：生指・全職員 】 ・いじめ対応チームを中心に関係職員の即時招集、チームでの聞き取り等、早めの対応、継続的な見守りを今後も続ける。【生指・全職員】
施設・設備の管理	18	安全点検は、確実に行われている。	3.4		・年間計画に基づく安全点検日の実施を徹底する。点検実施後は事務→教頭→校長が実施状況を確認し、未実施の場合は速やかに実施・処理する。改善が必要な箇所は速やかに対応する。【事務・管理職・全職員】 ・複数での点検がスムーズに実施できる体制を整える。【安全担当】
	19	教材・教具は整備され、活用されている。	3.1		・ 夏季休業中 に備品を整理し、収納場所を明記する。【 継続：事務・担当 】 ・職員室、教室等の整理整頓、 使いやすく、過ごしやすい居場所 づくりを心掛ける。【 継続：全職員 】 ・担任や担当が変わっても 使いやすくなるような環境 を整える。（教具室・倉庫・図書室の整理）【 継続：全職員 】 ・備品点検等と並行して、廃棄すべき物品については、早めに挙げる等、 不要なもの については 確実に処分 に間に合わせる。【全職員】 ・職員室、印刷室、教具室等、収納場所を明記されている場所へ確実に戻す。【全職員】

		20	学級園は整備され、活用されている。	3.3		・学級園の規模について検討する。今年度の反省をもとに、次年度以降の方向性を今年度中に決定していく。【継続：勤労生産奉仕担当】 ・学級では児童が主体的な判断力や観察力をつける等、考える習慣を育成する機会とする。【担任・教科担当】
		21	施設・設備は美化が図られ、適切に管理されている。	3.4		・安全点検と運動し随時教育委員会に報告する。【継続：教頭・事務】
		22	適正な予算（学校、学級）運営がなされている。	3.5		・経費節減のためのルールを周知徹底する。【継続：全員】 ・各担当による予算執行を計画的に進める。特に全体に関わる予算については適正な時期に執行する。【継続：各担当】 ・配当された予算、執行された予算は適正に処理する。【継続：担任・担当】
		23	公文書は適正に管理されている。	3.6		
教育課程	学習指導	24	教育課程は確実に履修されている。（授業時数、授業時間の確保を含む）	3.6		・授業の開始・終了時刻の厳守を徹底する。【継続：授業者】
		25	「新温泉授業スタンダード5」を意識した授業改善に努めている。	3.3		・「新温泉授業スタンダード」を基にした南小独自のスタンダードを実践しながら授業改善に取り組む。【継続：授業者・研修部】
		26	指導と評価の一体化により、児童のつまずきの解消を図っている。	3.2		
		27	家庭と連携し基礎・基本の確実な定着を図っている。（家庭学習の取組等）	3.1		・家庭学習強化週間の取組を家庭へ啓発する等、保護者と連携して家庭学習の習慣化をめざす。【継続：担任】
	様々な教育活動	28	道徳教育では、「道徳の時間」を要として、創意工夫した指導計画を作成し、児童、家庭、地域の実態を考慮した指導の充実を図っている。	3.2		
		29	外国語・外国語活動により、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成している。	3.5		
		30	人権教育では、自他に対する肯定的な態度と共生社会の実現に主体的に取り組む実践力を育成するよう努めている。	3.2		・人権教育の推進に向けた熟議が必要である。【継続：担当】
		31	特別活動では、よりよい学校生活づくりに参画する気持ち、自主的・実践的な態度を育成している。（学活、委員会、クラブ、代表委員会、集会活動等）	3.5		・高学年の児童が主体的に考え、やってみたい、挑戦したいと自立に向けた活躍の場を仕組んでいく。【担任・児童会・委員会・全職員】
		32	特別支援教育～一人一人の教育的ニーズを把握し、きめ細かく適切な支援を行っている。（担任、養教、専科、S A、補助員の連携等を含む）	3.4		・週案を必ず関係する職員に配付する。【継続：担任】 ・教育活動支援員・補助員の記録に目を通す等、授業者と支援者の意思疎通を確実に行う。【継続：担任・担当】 ・必要に応じて、休憩時間の見守りについて連携、重視する必要がある。【担任・特支コーディネーター・生指・支援員】

33	特別支援教育～コーディネーターを中心として、校内及び関係機関や保護者等との連絡調整を図っている。	3.4			・これまで同様、 個別の指導計画等の情報共有 の機会を全職員で 計画的に実施 する。【 継続：全職員 】
34	特別支援教育～通級による指導を中心として、支援を要する児童が安定した学校生活を行えるよう実践している。	3.5			・通級による指導と学級での指導が 連続性のあるもの となるよう、定期的な情報共有やケース会議を実施し、支援方針や対応方法について教職員の共通理解を深める場を模索する。【 特支コーディネーター・担任 】
35	保健指導・健康教育は、適切に行われている。（ 性教育 、心のケア、アレルギー対応等を含む）	3.6			
36	安全教育は、職員が危機意識を持ち、児童が自らの命を守るために主体的に行動する態度を育成している。	3.5			
37	情報教育では、ICTを効果的に活用し、情報活用能力及び情報モラルの育成を図っている。（タブレット活用、プログラミング教育を含む）	3.5			・一日一回は 必ずタブレットを活用 する。【 継続：授業者 】 ・ 教育ＤＸ等の情報 を共有、 授業実践に向けた研修 を実施する。【 継続：情報担当・担任 】 ・機器の不具合等については記録し 必要があれば町教委へ依頼 する。【 管理職 】
38	国際理解教育を通して、コミュニケーション能力、主体性や創造性、チャレンジ精神、国際的な共生の心の育成図っている。	3.1			
39	福祉教育を通して、思いやりや共助の心、ボランティア精神等の育成を図っている。	3.7			
40	防災教育では、副読本を活用したり各種訓練を実施したりし、様々な災害から自他の命を守る能力を高めている。	3.6			
41	体験活動を通して、自己認識や自尊感情を高め、人間としての在り方や生き方を考えさせている。	3.4			
42	環境教育では、地域教材や外部講師等を活用し、環境問題や環境保全等に対する理解の促進を図っている。	3.6			
43	読書指導により、豊かな人間形成や情操を育んでいる。	3.0			
44	学校給食を「生きた教材」として活用した給食指導を行い、組織的・計画的・継続的に食育を推進している。	3.0			・給食指導について 再度共通理解（手順、約束事等） を図り、具体的な事例を交流しながら指導方針を整理する。その方針に基づき、 指導を徹底 していく。（ 指導の責任者は担任 ）【 継続：担任・給食担当 】 ・給食センターと連携して、食育を推進するような取組や指導を実践する。【 食育担当・担任 】 ・各学年の残食量のデータを確認する。白ご飯の適切な量の調整をする。【 担任・学校食育推進委員会 】
45	清掃指導では、環境衛生への意識を高め、自主的に身辺を美化しようとする態度を育成している。	3.2			・できていること、頑張っている児童は大いに褒める。【 清掃担当・担任・全職員 】

		総合的な学習の時間では、課題探求型の学習を展開し、主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を育成している。	3.2			
主な行事	1学期	47 儀式的行事は、適切に行われた。（離着任式、始業式、入学式、終業式）	3.7			
		48 文化的行事は、適切に行われた。	3.5			
		49 健康安全的行事は、適切に行われた。（健康診断関係、交通安全教室等）	3.8			
		50 体育的行事は、適切に行われた。（体カテスト、プール水泳等）	3.8			・担当、体育部が中心となり、運動会、プール水泳について、今年度の反省をもとに、次年度以降の方向性を決定していく。【継続：体育担当・学校改革検討委員会】
		51 集団宿泊・遠足的行事は、適切に行われた。（修学旅行、自然学校等）	3.3			
		52 勤労生産・奉仕的行事は、適切に行われた。（学校園、大掃除等）	3.1			
家庭・地域	家庭・地域との連携	53 登下校	3.0			・下校体制一覧の活用を徹底する。行事、下校時刻の変更等の際には、下校体制を含めて確認をする意識。また、地区内の保護者同士の連絡体制についても継続して依頼していく。【担任団・管理職】 ・登校日誌の効果的な活用を検討、実践していく。必要があれば、項目の改善等について検討する。【校外児童会担当】 ・学校危機管理対応マニュアルに熊についても入れ込んでいく。【防災担当・管理職】 ・車の乗り入れについて保護者への啓発を継続することで現在も乗り入れをしている保護者への注意喚起につなげる。【管理職】
		54 家庭訪問	3.5			
		55 参観日	3.5			
		56 懇談会	3.5			
		57 人材活用	3.1			
		58 コミュニティ・スクール（学校運営協議会を含む）	3.1			
		59 外部評価	—			
		60 学校便り・HP	3.4			